

4 中学校技術・家庭科（家庭分野）における消費者教育

平成 29 年 3 月に告示された学習指導要領において、「1、中学校における消費者教育」に前述した通り、社会科、家庭科、技術・家庭科でその内容の充実が図られました。ここでは、中学校技術・家庭科（家庭分野）の内容と消費者教育について考えてみます。

今回の学習指導要領の改訂で特筆すべきことは、義務教育学校における家庭科および技術・家庭科（家庭分野）の学習内容の接続がよく分かるように、生活の営みに係る見方・考え方を踏まえ、「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」に整理されたことです。このことから、従前にも増して、小・中学校の学びの系統性が明確になるとともに、消費者教育の重要性も明らかにされています。また、学習の基軸に「空間軸（家庭、地域、社会の広がり）」と「時間軸（これまでの生活、現在の生活、これからの生活、生涯を見通した生活）」を据え、児童・生徒の発達課題に即して学習内容を系統的に編成することが求められています。

（1）新学習指導要領が示す中学校技術・家庭科（家庭分野）の消費者教育

すべての生徒が履修する内容は、「（1）金銭の管理と購入」「（2）消費者の権利と責任」です。

「（1）金銭の管理と購入」では、「購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。」とあります。そのキーワードは、「購入方法の特徴」「支払い方法の特徴」「計画的な金銭管理の必要性」となります。また、「売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。」も記されており、そのキーワードは「売買契約の仕組み」「消費者被害の背景」「消費者被害への対応」「物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理」です。

さらに、「（2）消費者の権利と責任」では、「消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること、」とあります。そのキーワードは、「消費者の基本的な権利と責任」「自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響」です。また、「身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。」の項目もあり、さまざまな学習を通して身につけた知識を活用して、持続可能な社会の構築などの視点から自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができるようにすることを目指しています。

（2）技術・家庭科（家庭分野）における「消費生活・環境」の指導について

「消費生活・環境」に関する学習内容は、家庭分野で学ぶべき内容を示していますが、その具体的な指導については、教育課程を編成する各学校の実態に即し、各教科等に示された内容を単独で指導すべきものと連携・協力して指導すべきものを明確にした上で、指導者の共通理解のもとに進めることが大切です。例えば、学校全体で国際理解教育に重点を置く教育課程を編成したときは、日本の食料や衣料などの実態が諸外国とどのような関係が生じているのかを社会科や家庭分野の授業に積極的に取り込むことで、幅広い知識が身に付くとともに、実践への方法が広がり、知識と技能が一体化した学習が実現します。また、各教科等の学びが単独ではなく相互に有機的な結びつきとなり、消費者市民社会を構成する一員としての意義も明確に指導できると考えます。

家庭分野の学習も同様で、「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の三つの内容も決められた授業時数（技術・家庭科 3 年間で 175 単位時間と示され、家庭分野は 87.5 単位時間が通常となっている。）の中で指導の充実を図るには、例えば、「衣食住の生活」と「消費生活・環境」の内容を組み合わせる指導計画を作成し、生徒の学びが実際の生活に生きるように工夫することが大切です。

（3）「エシカルスーパーマーケット」を活用した指導計画の視点について

ここでは、「衣食住の生活」と「消費生活・環境」に視点を当てた指導を念頭に、「消費生活・環境」を主軸に置きながら、「エシカルスーパーマーケット」を食生活の指導（調理実習）に関わらせて活用する事例と「消費生活・環境」の総まとめとして、自分の消費行動や環境に関する実践を振り返り、消費者としての自分を見直し、将来に向けた実践の意欲を認識する機会としての事例を掲載しました。

いずれもの事例も、家庭・地域・社会の広がりなど空間軸の思考と、過去・現在・未来への継続性など時間軸の思考とを有機的につなげ、持続可能な社会の構築に向けて、空理空論ではなく、望ましい消費行動の考え方や実践の方法の基盤をつくる学習を推進するための指導計画を立ててみました。

各学校での実践については、各学校の特色を生かした指導が展開されていることから、ここに挙げた事例をそのまま活用することは難しいことかもしれませんが、どの項目でも「エシカル消費」の基本的な考え方の学習指導の工夫の参考として、活用していただくことを願っています。

(4) 内容「C 消費生活・環境」における題材配列と指導内容

題材	消費者としての自覚を持つ	販売方法と支払い方法について知ろう	商品の選択と購入について考えよう	消費者トラブルを解決する方法を考えよう	消費者の権利と責任について考えよう	よりよい消費生活を目指して
時間	1	1	1	1	1	1
小題材 (C 消費生活・環境)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの消費生活について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 販売方法の種類と特徴について知ろう 支払方法の種類と特徴について知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の選択と購入について考えよう 商品購入のための生活情報の収集や活用方法を考えよう エシカル消費を理解しよう 	<ul style="list-style-type: none"> 契約について知ろう 消費生活のトラブルを理解し予防法や対処法を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者を支える法律や制度について知ろう クーリング・オフの方法を理解しよう 消費者の権利と責任について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した消費生活を考えよう(グリーンコンシューマー等) 持続可能な社会に必要なライフスタイルを考えよう エシカル消費を考えよう 食生活と環境の関わり 環境に配慮した衣生活を考えよう これからの住生活と環境
内容 C と関係する内容 (A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の働きを理解しよう 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の入手方法を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習(魚料理)の献立から買物をしてみよう 衣服の入手方法を考えよう 			
(1) ア(ア) 購入方法や支払方法の特徴	○	◎		○	○	
ア(ア) 計画的な金銭管理の必要性	◎	○	○	○	○	○
ア(イ) 売買契約の仕組み	◎	○	○	○	○	○
ア(イ) 消費者被害の背景と対応	○	○	○	◎	◎	○
ア(イ) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理	○	○	◎	○	○	○
イ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入、工夫		○	◎	○		
(2) ア 消費者の権利と責任、環境や社会へ及ぼす影響	○	○	○	○	◎	◎
(2) イ 自立した消費者としての責任	◎	○	○	○	○	◎
(3) ア 環境に配慮した消費生活	○	○	◎	○	○	◎
例) 内容 (A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活)	A(1) ア 家族・家庭の基本的な機能	○				
	B(2) イ 中学生の1日分の献立			○		
	B(3) ア(ア) 用途に応じた食品の選択			◎		
	B(3) ア(イ) 地域の食文化					○
	B(3) イ 日常の1食分の調理について食品の選択			◎		
	B(4) イ 衣服の選択		○	○		
	B(5) イ 環境に配慮した生活を豊かにするための物の製作					○
B(6) ア(ア) 住居の基本的な機能					○	
指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 物資とサービスと金銭の流れ 消費生活の仕組み 売買契約の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 購入方法と支払い方法 通信販売の利点と問題点 クレジットによる三者間契約 	<ul style="list-style-type: none"> 商品購入へのプロセス 生活情報の収集・活用(表示・マーク等) エシカル消費 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活のトラブルの特徴及び予防法と対処法 クーリングオフ制度 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の権利と責任 消費者基本法 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した生活スタイル(購入から廃棄までの消費行動) エシカル消費
内容 (A 家族・家庭生活、衣食住の生活)の指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の働きを支える仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 既製服の選び方 	<ul style="list-style-type: none"> 既製服の選び方 			<ul style="list-style-type: none"> 衣服のリサイクル 衣服と省エネルギー 環境に配慮した繊維 生産者と消費者の協力 ゼロエネルギー住宅

◎は、特に重点的に取り組む指導内容